

昭和五十八年一月十九日

トヨタ、小型乗用車「コロナFF5ドア」を新発売

—先進的なスタイルと優れたスペースユーティリティをもつ“スーパー5ドア”—

トヨタ自動車㈱は、小型乗用車コロナにFF(フロントエンジン、フロントドライブ)機構の5ドア車を新設し、一月十九日より全国トヨペット店を通じて一斉に発売する。

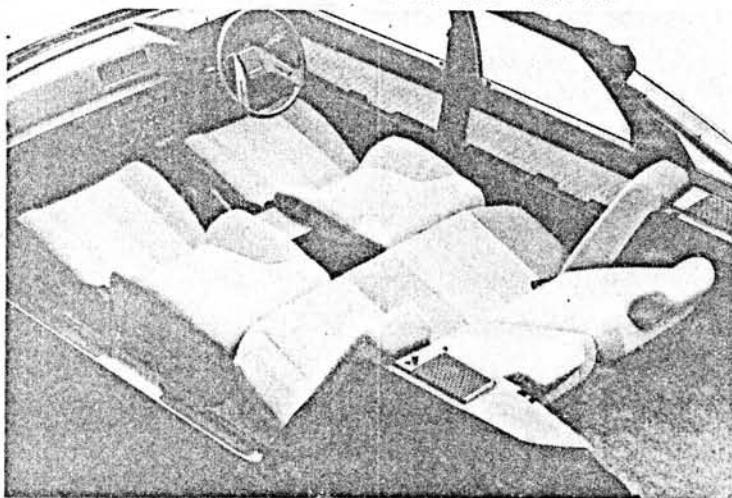
コロナは、昭和三十二年の発売以来、わが国の小型乗用車市場におけるリーダーカーとしての役割を果たしており、高い品質と豊富なバリエーションをもつシリーズとして、幅広いユーザーから極めて高い評価と信頼を得している。

今回追加発売するコロナFF5ドアは、日常ユースから多様なレジャーまで、幅広い用途に対応できる高級小型乗用車として開発したものである。

コロナFF5ドアは、空力特性を追求し、まろやかで美しい曲線にシ



コロナ FF 5ドア 1800 EX サルーン (E-ST150-TLMES) '83.1
175/70SR13スチールラジアルタイヤ、マッドガードはオプション



コロナ FF 5ドア 1800 EX サルーンの室内 '83.1
サウンド・イン・サウンドシステムはカセット一体AM/FMマルチラジオとセットで
クールボックス付エアコン、ワンタッチ式パワーウィンドゥは単独でオプション

ヤードな直線を融合させた、斬新で若々しいスタイルとなつてゐる。この優れた空力特性をもつボデーと新設計フロントサスペンションの採用、小型軽量、高性能のヘレーザー1S-FFエンジンの搭載などにより操縦性・走行安定性、さらに経済性など優れた基本性能を備えている。

またスペース効率の徹底的追求により、従来の小型乗用車の中ではトップ・クラスの居住性、ユーティリティの実現を図つてゐる。特に室内はリヤシートバックモリクライニングするオールフラットシートを装着している。また、乗員の好みに応じてラジオとカセットが同時に楽しめる画期的なオーディオシステム、「サウンドインサウンド」やラッゲージルームで後ろ向きに座れるチエア兼用パーテルボードなどにより、快適で新しい居住空間を実現している。

コロナFF5ドアの店頭発表会は二月五日(土)、六日(日)の両日を予定しており、当面の月販目標は三〇〇〇台である。

(注) 東京地区は東京トヨペット、東京トヨタの二社、大阪地区は大阪トヨタで販売する。

主な特長、標準価格、主要諸元は次のとおりである。

◎ コロナFF5ドアの主な特長

一、スタイル——美しい曲線と力強い直線を融合させた新鮮なスタイル

全体のデザインは、まろやかで美しい曲線にシャープな直線を融合させ、最も先進的なものとしている。さらにトレッドを広くとり、全高を押さえた「ワイドアンドロー」のスポーティかつ先進的なプロポーションとなつてゐる。

フロントには大型エアカットフラップ一体バンパー、サイドには幅広のプロテクションモール、リヤにはコーナーに回り込んだ縦長のコンビネーションランプを配し、個性的でアクティブなイメージを表現した。

ボデーの前後を絞り込むとともに、面一化を図り、空気抵抗の低減を図

つた。この結果、 C_d （空気抵抗係数）は〇・三五とこのクラスではトップレベルの値を実現した。

二、室内——広い居住スペースと、今までの小型車にない高いユーティリティ全高を低く押さえスタイリッシュなイメージを保つなど外形寸法を小さくとったにもかかわらず、室内は長さ一、八四〇mm、幅一、四〇五mm、高さ一、五〇mmと一クラス上の広いキャビンを実現させるとともに、クラストップレベルのラッゲージスペースを確保した。

前席のフルリクライニングに、後席リクライニング機構を組み合わせた新しいオールフラットシートを採用した。これにより後席の快適性を大幅に向上させるとともに、従来の小型乗用車にはなかつた室内的ユーティリティを生み出している。

イスとして使用できる構造のパーセルボードを採用し、バックドアを開いてラッゲージルームに腰掛けられるようにした。

（チャア兼用パーセルボード）

三、エンジン——ヘレーザー1S—FFVの搭載により、クラストップレベルの走りと低燃費を実現

かねてより好評の軽量かつコンパクトなヘレーザー1S—FFVエンジン（四気筒、一、八三二cc）の搭載、このエンジンとの最適なマッチングを図った新型トランスアクスル、 $C_d = 0.35$ の優れた空力特性をもつボディなどにより、軽快な走りと低燃費を実現している。

10モード燃費は、一三・六km（ミニアルトランスマッシュョン車、運輸省審査値）とこのクラスではトップレベルの値となっている。

またヘレーザー1S—FFVは、最高出力一〇〇馬力（五、四〇〇回転／分）、最大トルク一五・五kgm（三、四〇〇回転／分）と高い性能を示し、抜群の加速性能とシャープなレスポンスを実現している。

エンジン本体の静肅性に加え、遮音材、防振材を効果的に使用し、室内的騒音レベルの低減を図っている。

四、足まわり——優れた操縦性・走行安定性、乗り心地を実現

- ・ワイドトレッド、ストラット式四輪独立懸架、回転数感応型パワーステアリングなどを採用し、優れた操縦性・走行安定性、快適な乗り心地を実現させた。

- ・新設計のフロントサスペンションには、ネガティブキャンバー角の採用や加速・制動時の車両姿勢の変化を小さく抑えるサスペンションリンク配置を採用するなどの最適設計により、抜群の走行安定性を確保した。
- ・全車にフロントベンチレーテッドディスクブレーキを採用し、高い制動性能を実現させた。

五、新機構・新装備

- ・コロナFF5ドア車には、次の様な新機構・新装備がグレードに応じて標準またはオプション設定されており、室内的快適性・ユーティリティをより高めている。

- ①スピーカーからラジオ音楽を流している際、助手席、および後席でヘッドホーンを利用してカセットテープの音楽も同時に楽しむことができるサウンドインサウンドシステム

- ②缶ジユース五本を収納し保冷できるクールボックスをフロント部中央に設置しており、エアコン作動時には室内の空調とは独立して使用できる。また必要に応じて小物入れとしての使用も可能である。

- ③運転席と助手席の冷暖房の吹出し口風量の配分がコントロールでき、乗員の好みに応じた空調ができる左右風量コントロールシステム
- ④最適な運転ポジションを確保できるチルトステアリングとフロントハイドアジャスター付シート。

- ⑤コンソールボックスを有効に活用し、後席の乗員が飲みかけの缶ジュースなどを置くことができるスライドボックス

- ⑥ラジエータおよびエアコンコンデンサーの冷却用電動ファンが自動的にHi-Loに切替わり、省動力化と振動、騒音の低減を実現した。
(二段制御式冷却用電動ファン)

◎ コロナFF5ドアの標準価格一覧表

(スペアタイヤ・標準工具一式付、単位：千円)

	エンジン	グレード	東京	名古屋	大阪
コロナ FF5ドア	1S-LU (1832cc)	E X - サルーン	1,450	1,445	1,450
		G X - エクストラ	1,347	1,342	1,347
		G X(オールフラットシート付)	1,304	1,299	1,304
		G X	1,289	1,284	1,289
		D X	1,243	1,238	1,243

(注)・全車、5速マニュアルトランスマッション車。

・2ウェイ3速オートマチックトランスマッション車は5速マニュアルトランスマッション車に比べ48千円高。

TOYOTA CORONA 5door 主要諸元表		トヨタ	
		1800	DX
ホーダイタイプ			
排気量	EXサルーン	GX EX.クストラ	GX
クレード	E-ST150-TLMES	E-ST150-TLMSSL	E-ST150-TLMNS
車式	E-ST150-TLHES	E-ST150-TLHSSL	E-ST150-TLHNS
全長mm		4,330	
全幅mm		1,670	
全高mm		1,365	
ホイールベースmm	前mm	2,515	
寸法	後mm	1,425	
軽感地上高mm	前mm	1,435	
室内	後mm	160	
	高mm	1,840	
	高mm	1,405	
	高mm	1,150	
車両重量kg	(995) (1,010)	(975) (990)	(975) (990) (965)
乗車定員名	(1,270) (1,285)	(1,250) (1,265)	(1,250) (1,265) (1,240)
車両総重量kg		(0.58) (0.48)	
登坂能力tan/r		5.0(牽引5.5)	
最小回転半径m	(10.0)(車輪駆動) (10.5)(前輪駆動)	(23.5) (20.0)	
燃料消費率km/l		(13.6) (11.6)	
エンジン形式		IS-LU	
冷却方式		水冷・電動式	
吸入気量m³		直列4気筒	
ガソリン		OHC	
内径×行程mm		80.5×90.0	
エアコン搭載車		1,832	
エンジン容量cc		9.0	
正側柱		100.5,400	
シガーソケット		15.5,3,400	
シガーソケット出力W		キヤフレーター(ツバレルシンクル)	
シガーソケット搭載車		12-33	
バッテリーV-A/H		(12-55) (12-60)	
オルタネータV-A		55	
サイドタンク搭載車		カソリン	
使用燃料	(軽油車板タイヤラム油圧式)(3要素(32相切替トルクコンバーター))	(3.538) (2.810)	
クラッチ型式		(2.041) (1.549)	
変速比	第1速	(1.322) (1.000)	
	第2速		
	第3速		
	第4速		
	第5速		
	後退	(0.945) —	
減速比		(0.731) —	
ステアリング型式		(3.153) (2.296)	
減速比		はねば重車	
ステアリング		(3.735) (3.356)	
サスペンション	前	ラック&ピニオン式パワーステアリング	
	後	—	
フレーキ	前	ストラット式コイルスプリング	
駐車ブレーキ型式	後	ストラット式コイルスプリング	
タイヤ(標準仕様)	前	ベンチレーティッドディスク	
	後	リディングクートーリング	
		機械式2輪制動	
		165SR13	
		165SR13	

諸元表表面には車両型番と車両出荷数が記載されています。また、車両型番の末尾にカタログの種類を記載しています。
車両消費率および燃費、登坂能力、走行距離などの数値は、ミッションタイプ別にカタログの種類で区別されています。
5速マニュアル車は、1.270m(車輪駆動)、1.285m(前輪駆動)、7速マニュアル車は、1.250m(車輪駆動)、1.265m(前輪駆動)、
5速アシストマニュアル車は、1.270m(車輪駆動)、1.285m(前輪駆動)、7速アシストマニュアル車は、1.250m(車輪駆動)、1.265m(前輪駆動)、
走行距離は、走行条件の変化によって車両消費率は求められた走行条件のものとては、実際の走行時には、この条件(燃費、速度、走行距離、
整備などの状況)が異なってきますので、それに応じて車両消費率が異なるべきです。
トヨタ自動車株式会社は、燃費、性能の向上とロングランを目標として、新開発のハイブリッドシステムを採用して、燃費を大幅に向上させています。

製造事業者：トヨタ自動車株式会社